

伊勢湾貧酸素情報（第5報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

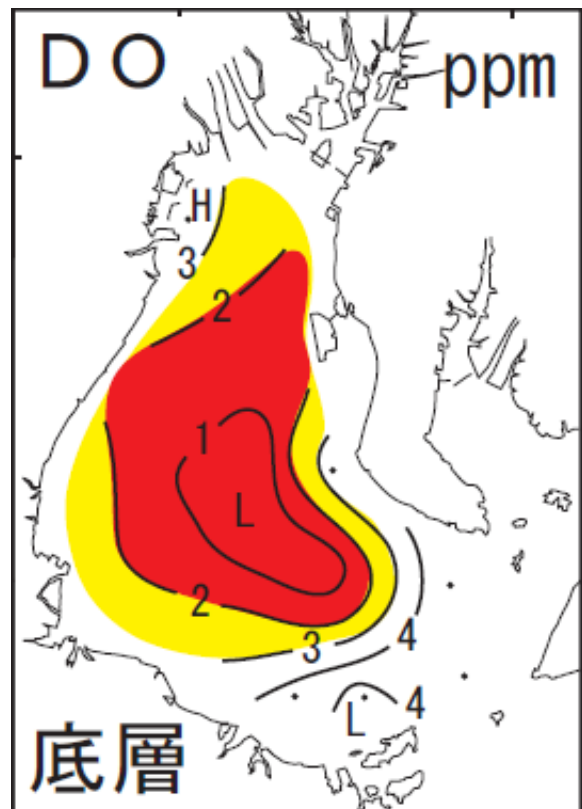
10月3日の調査結果

10月3日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 22.3～23.5℃、10mで 22.9～23.4℃、底層で 21.1～24.0℃の範囲にあり、表層と 10m は平年よりやや高め、底層では平年並からやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.3～6.5ppm、10mで 3.2～5.4ppm、底層で 0.5～5.0ppmの範囲にあり、表層は平年より低め、10mと底層ではやや低めとなっていました。

底層では湾中央部から湾奥よりに 2ppm以下の貧酸素水塊が広く形成されています。

伊勢湾では今後海水の上下混合が起きやすい時期となるため、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図